

日本国際連合学会

2001年度(第3回)研究大会

日時: 2001年6月 9日(土) 午前10時~午後7時
10日(日) 午前10時~午後6時半

会場: 国際連合大学3階ウ・タント国際会議場

〒150-8304 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 ☎03-5467-1259

大会プログラム(修正版)

全体テーマ: 「国連と日本—新たな関係の構築」

第1日: 6月9日(土)

◇ 第一セッション(午前10時~午後1時)

テーマ: 「国連における日本の役割」

座長 国際基督教大学教授 山本 和

報告1: 「南北の架け橋としての日本の役割」 成蹊大学名誉教授 広野良吉

報告2: 「国連による平和と安全の維持と日本の役割」

—安全保障理事会の改革を中心に— 東京大学教授 山本吉宣

東京大学大学院博士課程 春名展生

報告3: 「人間の安全保障と日本の役割」 外務省国連行政課長 吉田雅治

◇ 昼食(午後1時~2時半) —理事会

◇ 第二セッション(午後2時半~5時)

テーマ: 「国連に対する日本の貢献」

座長 大阪大学大学院教授 星野俊也

報告1: 「国連平和維持活動への日本の貢献」 外務省欧亜局審議官 神余隆博

報告2: 「人間の安全保障型平和活動への日本の貢献」

東京情報大学教授 大泉敬子

◇ 総会(午後5時~5時半)

◇ 懇親会(午後5時半~7時)

会場: 国連大学2階レセプション・ホール

第2日：6月10日（日）

◇ 第三セッション（午前10時～12時半）

テーマ：「国連で働く日本人職員の役割と課題」

座長 アジア女性基金事務局長 伊勢桃代

報告1：「国際公務員制度の意義と課題－日本人職員との関係で－」

国際人事委員会委員 田代 空

報告2：「国連日本人職員の可能性と課題」 フェリス女学院大学教授 弓削昭子

◇ 昼食（午後12時半～2時半）－編集委員会

◇ 第四セッション（午後2時半～6時半）－国際シンポジウム－（英語のみ）

（この国際シンポジウムは、外務省のご協力を得て開催されます。）

テーマ：「21世紀の国連における日本の役割

－世界は日本に何を期待するか－」

座長 日本国際連合学会理事長 明石 康

パネリスト： 駐日エジプト特命全権大使 Dr. Mahmoud Karem

アスペン研究所地球相互依存研究部専務理事 Amb. Princeton Lyman

エクス・マルセイユ第三大学教授 Prof. Rostane Mehdi

国際開発高等研究機構国際開発研究センター所長 高橋一生

ヤワハラル・ネルー大学教授 Prof. Yogesh Kumar Tyagi

駐日チェコ共和国特命全権大使 Amb. Karel Žebrakovský

追記： この研究大会の開催に際しましては、会場の提供等につきまして、
国際連合大学、とりわけファン・ヒンケル学長のご好意あるご協力とご配慮
を賜りました。深く感謝申し上げます。

－ 事務局
